広報 かじき
No.349
昭和58年 11月号
発行 加治木町
編集 総務課

子どもたちの健やかな成長を

最近の小学生は、朝からよくあくびをするそうです。

また、〝疲れ知らず〟のはずの子供が、すぐに「疲れた」と言うようになったとも聞きます。

十一月は「全国青少年健全育成強調月間」です。

これは、青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、心身ともに健やかに成長するよう、幅広い育成活動が展開されることを願って設けられました。

これからの社会を担っていく子供たち―たくましく健やかに育ってほしいものです。

社会性を育てる（護国神社を清掃する柳田子ども会）

◈人口23,010人（＋59） 男10,871（＋27） 女12,139（＋32） 世帯数 7,757（＋15） 58.10.1現在（　）前月比

一般会計 一億七千七百五十一万三千円を追加

小山田線道路新設改良 工事請負契約など可決

第3回定例町議会

第三回定例町議会は、九月二十八日から十月二十四日まで、二十七日間の会期で開かれ、一般会計補正予算や昭和五十七年度の決算認定、小山田線道路新設改良の工事請負契約締結に関する議案等十九件と意見書一件、陳情三件、請願一件を審議。補正予算や契約案件等の議案と意見書を可決し陳情・請願は継続審議としました。

蔵王団地線の改良など

今回の一般会計補正予算は一億七千七百五十一万三千円が追加され、予算総額は四十二億六千八百八万九千円となりました。

追加された主なものは、次のとおりです。

▽マイクロバスの買い替え費三百三十万円▽福祉センターホールの床パネル貼り替え工事費百八十万円▽公衆浴場の泉源掘削工事費一千三百万円▽老人医療費の上昇に伴う老人医療特別会計への繰出金一千三百七十七万四千円▽鶴原と市野の集落環境施設整備事業補助四百十五万円▽蔵王団地線ほか町道の新設改良工事費二千万円▽加治木中学校のサーキットトレーニング用斜面走施設工事費三百七十万円▽農業用施設災害復旧工事費一千百八万三千円など。

一般会計などの決算を認定

また、昭和五十七年度一般会計及び国民健康保険などの特別会計の決算を認定しました。

昭和五十七年度一般会計の決算額は、歳入総額四十一億八千四百十八万五千二百九十九円、歳出総額は四十一億四百五十七万一千四百二十四円で、歳入から歳出を差し引いた実質収支額は、七千九百六十一万三千八百七十五円となっています。

この実質収支額のうち四千万円を財政調整基金へ繰り入れるため三千九百六十一万三千八百七十五円を、昭和五十八年度へ繰り越しました。

昭和五十七年度決算を、前年度に比較すると、地域し尿処理施設整備事業や、庁舎改装事業等の事業量が減少したため歳入で三・二パーセント、歳出で四・一パーセントそれぞれ減少しています。

提案説明を行う町長

㈱岩澤組と請負契約

小山田線道路新設改良工事

小山田線道路新設改良工事については、株式会社岩澤組(内原田)と四千五百万円で工事請負契約を締結する議案が可決されました。

工期は、十月十三日から昭和五十九年三月二十日までの百六十日間です。

意見書を可決

陳情等は継続審査に

陳情等については、「大韓航空機撃墜事件に関する意見書」は原案どおり可決されましたが、「木田本通線日豊線木田踏切のこ線橋建設反対陳情書」「札立地区環境整備事業に関する陳情書」「医療保険抜本改悪案の撤回を求める決議及び意見書の提出についての陳情」「大型間接税導入と申告納税制度の改悪に反対し三兆円減税を求める請願書」の陳情三件と請願一件はいずれも継続審議となりました。

町教育委員に

大井千尋氏(57)を再任

第三回定例町議会で、町教育委員会委員に天神の大井千尋氏(57)を再任することが同意されました。

大井氏は、昭和三十五年から本町で病院を開業されており、五十四年十月から町教育委員会委員を務められています。

●たばこは地元で買いましょう。

父親の体験を語る

父親土曜セミナー

妻の死を乗り越え
思いやりの心で子育てを

家庭や地域での父親の役割を学ぼうと、町教育委員会が実施している「父親土曜セミナー」が十月十五日福祉センターで、「父親の子育ての体験を語る」をテーマに開かれ、父親・母親八十人が参加しました。

セミナーでは、各小学校区から選ばれた堂免春幸さん（下新道）谷口敏彦さん（今町）宮路義和さん（弥勒）犬童弘さん（下東木）小宮路久さん（辺川下）の五人がそれぞれの子育ての体験を熱っぽく語りました。

谷口敏彦さんは「子供が二歳の時妻がなくなり、私一人で男の子を育ててきた。PTAに行くと母親ばかりで、父親は私一人だった。」

「仕事上子どもと遊んでやれないので、夜必ず一緒に風呂に入り話すことにしている。また、毎月一回神社に参拝し、祖先に感謝する心を培うと共に、人間の尊さを教えようとしている。」

「親子の絆というのは強いものだ。思いやりと愛情、忍耐と寛容の心を持って子供に接すれば、やさしい子供に育つ。理屈ではない。」とこれまでの体験を話されました。

集まったお母さんからは「みなさんの話しに、母親として感動しました。これからも続けて欲しい。」という意見が出されました。

セミナーはこの発表をさらに深め、子どもの教育における父の役割、母の役割を考えようと十一月十九日「母親と語る会」を開催することにしています。

父親の子育て体験を

県・郡でも好成績が
畜産共進会

郡の畜産共進会は九月二十七日から二十八日の二日間、隼人町で行われ、本町からは肉用牛十一頭と、種豚八頭が出品され好成績をあげました。

また、十月六日から八日にかけて伊集院町で、県畜産共進会が開催され、肉用牛二部で東萩子さん（永原）の牛が優秀賞に、また柚木満さん（朝日町）の豚が八部で最優秀に選ばれました。

郡畜産共進会の結果は次のとおりです。

▽肉用牛二部〔最優秀〕
東萩子（永原）東光義（永原）

▽肉用牛三部〔優秀賞〕
末吉キミ子（毛上）小宮路進（辺川）山口正春（鞍掛）

▽系統牛〔優良賞〕
内村義光（市来原）

▽父系群〔最優秀〕
外園貢（市野）前田治美（伊部野）新ハルエ（菖蒲谷上）

▽種豚の部
〔最優秀〕柚木満（朝日町）
〔優秀賞〕南原春男（御狩山）

▽系統の部〔最優秀〕柚木満

▽団体成績（加治木町）
肉用牛の部……七位
種　豚の部……三位

郷土史探訪 5
日木山石塔と加治木氏

日木山里ノ上の山王前に、何やら由緒ありげな二基の石塔が立っています。北側の石塔は高さが三・三㍍で寛元元年（一二四三年）に、南側の石塔は高さが二・四㍍で仁治三年（一二四二年）に建立されたものだと言われています。

この石塔は、加治木氏八代の加治木親平夫妻の霊を弔うために子孫が建てたものだと言われており、鎌倉時代の石塔では九州では最高の部類に入ります。

加治木氏の始まりは、平安朝の中ごろに藤原経平（つねひら）という公卿が罪により加治木に流されて来てそのころ加治木地方を支配していた大蔵氏の娘「肥喜山殿」と結婚して、経頼（つねより）を設けました。

その経頼は、加治木氏を名乗り加治木荘園を治めていくことになります。

この石塔の主とされている加治木親平は、加治木氏の八代で時代は鎌倉時代の初期になります。

このころになりますと、源頼朝の家人であった島津忠久（薩摩島津家の祖）が、薩摩・大隅・日向の守護として下ってきます。

島津氏と加治木氏は、時に争ったり、時に仲なおりをしながらもやがては島津氏の力に圧倒されていきます。

明応四年（一四九五年）加治木城主であった加治木久平は、島津氏と戦って敗れ阿多に移され、加治木氏は久平の代で亡びました。

加治木氏は、大蔵氏の時から数えますと約五百年余り、加治木地方を支配してきたわけです。

このあと、伊地知重貞が地頭として加治木にやってきます。

（次号は「加治木銭と滝標（たきじるべ）」）

体力の限界に挑戦！

第4回加治木養護学校運動会

空中ばくはつ

十月十五日県立加治木養護学校（大迫政秀校長、生徒百十五人）では、第四回の運動会が多くの応援の中盛大に行われました。

加治木養護学校では、これまで加治木中学校の体育館を借りて運動会を開催していましたが、今回は全校生徒が参加できるようにと校内で実施されました。

大迫校長は「それぞれの病気の程度に合わせた種目を、先生と子供達の話し合いで決めており、一つも昨年と同じものはない。体力の限界に挑戦し、できるすべてのものを引っ張り出すことがねらいです。一つ一つが学習の要素を含んでいます。」と話されました。

生徒達は、「ねらいを定めて」「空中ばくはつ（風船割り）」等の競技や、応援合戦に一生懸命取り組み、父兄や先生方の盛んな拍手を受けていました。

優勝した役場チーム

役場チームが優勝

妙円寺詣り弓道大会

十月十九日、伊集院町・徳重神社で開かれた「妙円寺詣り弓道大会」で、役場チームが優勝。二年連続本町が優勝旗を獲得しました。

東西対抗に熱戦

第三回オールスターナイターソフト

町ソフトボール協会主催の第三回オールスター・ナイターソフトボール大会が十月十一日、町営グラウンドで開催され、Aクラスでは十対二で西軍が、Bクラスでは十対七で東軍が勝利しました。

大会は、綱掛川を境に東西のソフトボールチームから選ばれた六十人が熱戦を展開しました。

表彰を受けた選手は次のとおり。

▽Aクラス
最優秀選手…城智仁（西軍）
最優秀投手…扇園弘行（西軍）
敢闘賞…月ノ木幸穂（東軍）

▽Bクラス
最優秀選手…本村道夫（東軍）
最優秀投手…坂口秀昭（東軍）
敢闘賞…平山孝雄（西軍）

▽ホームラン賞
本村道夫（東軍）月ノ木幸穂（東軍）中山修二（西軍）

東　軍

西　軍

練習の成果を

婦人バレーボール大会

九月十八日加治木中学校体育館で、第二回婦人バレーボール大会（町教育委員会主催）が開催され、地域や、職場で練習を積んできた十二チームが熱戦を展開しました。

またこの大会に、加治木産業から優勝旗二本が寄贈されました。

▽Aクラス
優勝…加治木スポーツクラブ
二位…妃薔薇
三位…柁城クラブ

▽Bクラス
優勝…錦江フレンドA
二位…豊友会
三位…錦江フレンドB

ふくしの窓口 ⑨

在宅の重度障害者に「福祉手当」を支給

在宅の重度障害者（精神または身体の重度の障害）で、日常生活において、常時の介護を必要とする状態にある本人に対し「福祉手当」が支給されます。

□手当の額
一人月額一〇、五五〇円

□支給期日
年三回（四月、八月、十二月）

□支給要件
①この手当の支給を受けるには、本人の障害の程度が、一定の程度以上であること。
②本人および扶養義務者等の所得が一定水準以下であること。
③心身障害を支給事由とする年金（福祉年金を除く）を受けていないこと。

□その他
福祉手当の詳しい内容や受給手続きについては、町福祉課へお問い合わせください。

城北地区が大健闘

第三十五回町民体育祭

秋空の下、十月十日「体育の日」、第三十五回町民体育祭が、幼児からお年寄りまで約三千人が参加して加治木中学校グラウンドで盛大に開催されました。

競技は九地区対抗で、各種目とも熱戦が展開されましたが、今年は城北地区が大活躍。体育祭の優勝と年間社会体育総合優勝に輝きました。

また注目の躍進賞は、昨年の七位から三位へ躍進した錦江一地区が獲得しました。

昼食時間には、今年一年間の各種大会で優秀な成績を納められた三十七人の表彰が行われました。

体育祭の成績は次のとおり。

（○内は前年度の成績です。）

優勝　城北地区　一八九点②
二位　錦江第一地区　一八五点①
三位　竜門地区　一六八点④
三位　城東地区　一六八点③
五位　城南地区　一四〇点⑥
六位　錦江第三地区　一三二点⑤
七位　永原地区　一〇八点⑦
八位　錦江第二地区　九〇点⑧
九位　城西地区　八一点⑨

にぎわった町民体育祭

城北地区が総合一位

社会体育成績

昭和五十八年度に行われた各種社会体育大会の成績でも城北地区が一位となりました。

（○内は前年度の成績）

一位　城北地区　②
二位　城東地区　①
三位　錦江第一地区⑦
四位　城西地区　⑧
五位　永原地区　④
六位　城南地区　③
七位　竜門地区　⑤
八位　錦江第三地区⑥
九位　錦江第二地区⑨

▽年間総合躍進賞
錦江第一地区
三七点から五〇点に。

73チーム336人が競射

第16回義弘公奉賛武道（弓道）大会

第十六回義弘公奉賛武道（弓道）大会が、十月二十三日町営体育館で開催され、七十三チーム三百三十六人が参加し日ごろの技を競い合いました。

大会は十月七日受賞した「文部大臣表彰」の記念大会も併せて実施され、開会式で東大会長から表彰状が、部当町弓道部長に伝達され、県内外から集まった参加者から拍手を受けました。結果は次のとおりです。

◎中学の部
▽男子団体
①帖佐中A②蒲生中A③陵南中
▽女子団体
①加治木中B②加治木中A
◎高校の部
▽男子団体…①加治木工業A②鹿児島南高③鹿児島商工高
▽女子団体
①鹿児島南A②加治木高
◎一般の部団体…①都城木曜会②錬心館③求道館一（加治木町）

的に向かって精神統一

諏訪子ども会が優勝

第六回さわやか少年ソフトボール大会

第六回を迎えたさわやか少年ソフトボール大会（主催加治木町子ども会育成連絡協議会、岩元房友会長）は、十月十六日加治木中学校グラウンドで、各地区から十五の子ども会チームが参加し盛大に行われました。

これはソフトボールを通じた子ども会どおしの交流や、異年齢の集団の中で、助け合う心を培うこと等を目的に、南九州コカ・コーラボトリング株式会社や、町ソフトボール協会の協力を得て実施しているもので、岩元会長らの試球式で試合開始。秋空の下、好試合が展開され、諏訪子ども会が優勝しました。

結果は次のとおりです。

①諏訪子ども会②下浜・今町子ども会③田中子ども会、春日・札立・蔵王・口ノ町子ども会

新記録が四個

町小学校陸上記録会

昭和五十八年度町内小学校陸上記録会が十月二十日、加治木中学校グラウンドで開かれ、五・六年生約四百五十人が百㍍走や、走り幅とび等八つの種目に元気よく挑戦し、新記録が四個生まれました。

新記録は次のとおりです。

▽一〇〇メートル走（六年男）
楠元淳一郎（錦江）十三秒六
▽六〇メートルハードル（六年男）
楠元淳一郎（錦江）九秒七
▽走り幅とび（五年女）
遠矢香織（永原）三㍍九十
▽走り高とび（五年女）
脇千鶴子（柁城）一㍍二十二
◎タイ記録
一〇〇〇㍍（六年男）
井上貴光（柁城）三分二十秒

役場職員の異動

十一月一日付

▽新規採用

（　）内配属課

篠崎裕子（住民課）

棒踊りを披露

竜門小体育祭で

十月二日竜門小学校体育祭で、昨年の町制七十周年を機会に復活した竜門西浦地区の棒踊り（犬童弘保存会長、二十人）が披露され「何十年かぶりに見た。すばらしい。」と、集まった観衆から盛んな拍手を受けました。

この棒踊りは、鎌倉時代から伝承されていたと言われ、地区の氏神大井上神社の秋祭りに奉納されていました。

保存会では、郷土の芸能を絶やさないようにと、農作業の合い間を利用し、毎月一回練習に励んでおられます。

勇壮な踊りを披露

「私の代わりに電話をかけて」

お願い手帳＝ろうあ者に贈る

加治木電報電話局

耳や言葉の不自由な人のために「私のかわりに電話をしてください」「一一〇番へ電話してください」などと印刷された「電話お願い手帳」百二十五冊が、このほど加治木電報電話局長から、東町長に贈られました。

この「電話お願い手帳」はオレンジ色の表紙で、ページをめくると「私は耳・言葉が不自由です。一一〇番へ電話してください」など、緊急電話の依頼文が印刷されており、そのページをお願いする人に提示すれば、見た人がかわりに電話してもらえる手帳です。

町福祉課では、耳や言葉の不自由な障害者に、この「電話お願い手帳」を配付して愛用してもらうことにしています。

一般のかたで障害者から、この手帳を提示されたときは、用件のページをよく読み、確かめて早目に電話をかけてあげましょう。

青少年の豊かな心を育てよう ⑦

他人を思いやる心

素直な感動、いたわりの気持ちから芽生える

〝自己中心的でわがまま、そのうえ甘えた考えを持っている〟

――最近の子供たちについて、こうした傾向を指摘する人が多いようです。そして、現代っ子たちに欠けているのが他人を思いやる心だといわれています。

子供たちが、日常の生活を通して〝豊かな心〟をはぐくみ、社会の一員として「他人を思いやる心」を身につけるためには、学校、家庭、社会が連携を取りつつ、それぞれの教育的役割を果たすことが大切です。そして、ふだんから美しいものを素直に美しいと感じ、弱いものに対するいたわりの気持ちを抱かせながら、他人を思いやる心を芽生えさせ、育てていくことが必要です。

家庭でのしつけ、地域社会での活動を通して、次のような運動の輪を広げていきましょう。

常に相手の身になって考え、温かい援助の手を差し伸べる心を育てるために

★親切運動を進めよう

- お年寄りや体の不自由な人が困っていたら、手を差し伸べよう
- だれに対しても温かく接する「ニコニコ運動」を進めよう
- 自分の特技を提供する慰問人形団、敬老会、奉仕キャラバン隊などに参加し、地域活動を実践しよう

★感動する心を育てよう

- 優れた絵画、音楽、映画、演劇など芸術鑑賞の機会をつくろう
- 美しく感動的な風景の写生や写真撮影をしたり、日記をつけよう
- キャンプ、登山などの野外生活を通して、自然の厳しさと恵みを実感させよう

そのほか、物を大切にする心を育てることも大切です。物を粗末にしない心が、ひいては他人に対する思いやりにつながります。また、必要もないのに、子供が欲しがるものを買い与えたりしないように気をつけたいものです。

文部大臣表彰を受賞

町体育協会弓道部

十月七日、昭和五十八年度社会体育優良団体の表彰が行われ、本町では初めて町弓道部（部當光夫部長、三十二人）が文部大臣表彰を受賞しました。

これは永年、地域の中高校生を指導。青少年の健全育成に尽力し多くの成果をあげていることや、伝統行事を存続している活動が他の模範と認められたものです。

町長より伝達を受ける

永原中跡地に加治木産業が

旧永原中学校の跡地で加治木産業（福村厚行社長）が、九月十二日から操業を開始しました。

これは、中学校の統合に伴う学校施設を活用し、地場産業の育成を図ろうと町が貸付けたもので、現在三十人が就業しています。

福村社長は「将来は百人程度の工場としたい。」と話されました。

初期消火は婦人で

須崎自治会で訓練

あわてず正確に

「秋の全国火災予防運動（十一月二十六日から十二月二日）」を前にした十月二十三日、須崎自治会（瀬戸口保自治会長、二百三十七戸）で、十一年も続いている婦人による消火訓練が行われ、同自治会の老若婦人三十人あまりが参加。錦江分団の須崎消防班員の指導でホースの接続、消火栓の操作、放水等初期消火の訓練がきびきびと実施されました。

これは「自分達の地域は自分達で守ろう。」と四十七年から続けているもので、この日は午後二時、火災発生の合図とともに一斉に集合した婦人の手で二分後には放水が始まるスピードぶりで無事鎮火。

姶良西部消防組合の木場署長は「火災予防は一人ひとりの油断をなくすことが大切です。防火意識の高揚のためにもぜひ続けて欲しい。飛び出して来られた元気な姿に感心しました。」と話されました。

「点検は　防火のはじまり　しめくくり」年末を控え、なにかとあわただしく、ストーブなど火の気を使う機会も多くなります。気持ちを引きしめましょう。

薬草

知られざる効き目 ②

ニラ

ニラは中国西部の原産で、わが国には早くから渡来し、万葉の歌にもでている。その薬効が著しいので、以来日本人の生活に密着しており、「心ざしゃニラン葉」なるさつまのことわざもあります。

腸を整える効は有名で、食あたりして下痢するとき、みそ汁にニラを煮込みかつおぶしを加えておかゆにしたものを二回ほど食べると卓効があります。

肝臓の弱い方は、このおかゆを常食するとよろしい。狭心症、腸へいそく、腸ねんてん、胃けいれん、子供のひきつけには、ニラ一にぎり塩でもみ、その汁を盃二から四杯飲ませると起死回生の効あり。

釘、針、とげ、ガラス、貝がら木や竹のささくれが刺さって中に残った場合、ニラの葉をもんではりつけておくと、やがてわけなく吸い出してしまいます。

子供が誤って針や釘を呑みこんだら、ニラ十本ほど長いままおかゆにたきこみ、かまずに食べさせると、針などをニラが巻きこんで胃腸をいためずに、便にまじって出ます。

魚の骨がのどに刺さり、どうしてもとれないときも、この方法で簡単にとれます。

ニラ切って
酒借りに行く
となりかな　子規

庭の片隅に一列に植えておき根もとからつむたびに木灰をかけておくと繁殖し、シーズンになれば、白い可憐な花が咲きます。

朝露にぬれた風情、又、ひとしおの感があります。

（筆者上荻大治）

竜門の会

穂芒のうねりの果に湖光り　鶴田　耕
阿蘇の威の静けさにあり銀河澄む　横山　江南
蓼咲けり噴煙遠く流れゐて　井之上透山
一口は舌に転ばす新酒かな　加藤　白柳
川風に葦の穂ゆれつ朝の径　上野　光
噴煙の一条尾花そよぎけり　古江　重美
満ちたりし一日を得たり麦茶飲む　田代　俊泉
クレーンの腕のびのびと秋の空　柳田　稔
花臭木見上げる人もなかりけり　宮脇　思川
たそがれや薄紅させる酔芙蓉　高木　正男
測量師通草を提げて家苞に　川崎　黒兎

お知らせ

加治木団地の分譲住宅
申込者を募集

▽募集戸数
三十戸（メニュー方式分譲住宅）
二十二戸（宅地分譲）
二十一戸（コーポラティブハウス）

▽受付期間
十一月二十三日から十一月二十七日まで

▽受付場所
加治木団地内（アドバルーン目印）
県住宅供給公社事務所
山形屋七階画廊

▽問い合わせ先
鹿児島市新屋敷町十六番二十一号
県住宅供給公社
（電話〇九九二㉖七八三一）

第三十五回人権週間
十二月四日から十日

我が国では、世界人権宣言が採択された翌年の昭和二十四年から毎年十二月四日から十日までを「人権週間」と定め、人権思想の普及、高揚を図る活動を展開しています。

この週間を前に十月六日、「世界人権宣言三十五周年記念全国縦断キャンペーン」の一行が本町を訪れ、町長に国連事務総長からのメッセージを伝達しました。

町内では、鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも無料で人権法律相談に応じています。お気軽に御相談ください。秘密は固く守られます。

宮城俊治　港町一三一番地一二一（電話三―三七八七）
田中重男　仮屋町六四番地（電話二―二二六〇）
中摩多美子　反土二七五六番地（電話二―二七六八）

おいしい新米は
知事許可店で

米は政府管理米を責任をもって販売している県知事許可店から安心して買いましょう。

町内では次の十四店です。

許可店名	所在地	電話番号
大串米穀店	岩原西	③一〇六四
榎薗商店	御狩山	②二七一八
今田商店	新富町	②二五二三
瀬戸山米店	錦江町	③四一二〇
橋口米屋	錦江町	②二七一七
池田（国）商店	永原	③三二八一
三幸商会	本町	②二五二四
岩田商店	朝日町	②二三三五
池田（ス）商店	岩原東	②二〇五八
法元商店	田中	②二三一七
今薗商店	本町	②二五四三
岡山米店	錦江町	②二一七五
村田商店	朝日町	③一六〇〇
片平商店	仮屋町	②二三九一

うぶ声
九月二十一日から十月二十日まで受付分

出生児	保護者	自治会
緒方壮八郎	勝也	布越
吉田　真	亘	赤坂
上野　里美	弘秋	田中
木佐貫良和	良一	下新道
梅木　龍也	隆	下新道
有村　俊範	明	札立
大園　健介	良和	赤坂
川崎　亮	栄一	西江口団地
畠中　一樹	和美	赤坂
池田　徹朗	勝彦	柳田
石野　真吾	正広	春日団地
宮崎公仁子	一廣	吉原
國生　典伴	照次	桃木野
岩下　裕一	吉則	中央
向井　幸男	一夫	布越
上猶　優美	尚友	高井田
岩下みゆき	末男	春日団地
石田　彩花	次智	今町
小島　靖久	青志	豊町
白川　聖	浩	萩原
篠田　優輝	義照	弥勒
川島いづみ	正雄	下浜
小宮路絢子	俊介	空港団地
郡山絵梨子	和人	須崎
上福元　淳	剛	里ノ下
有村　悠佑	千敏	豊町
柞元　友香	孝	札立
中摩　麗	一夫	竹下

更生相談

期日…毎週水曜日
時間…午前九時～正午
場所…町福祉センター

御寄付

香典返しの代わりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円
柳田　土持シヅエ（夫光義82）
二万円
萩原　松元シヅエ（夫武夫68）
三万円
西ノ原　川田幸雄（妻千代子60）
二万円
向江町大久保ヤエノ（夫末雄68）
三万円
中福良後　有村ミカ（夫親雄71）
三万円
弥勒　芋迫秀則（父正男57）
三万円
須崎　宮路シマ子（母サダ90）
二万円
岩原西　新原文雄（妻ミヅエ72）
二万円
新開　松葉瀬栄（父栄蔵86）
三万円
桑迫　山下近吉（妻ミツエ60）
五万円
西町　有馬要一（父清一90）
二万円
西反土後　小竹テイ（夫彌成74）
三万円
新町　篠原隆義（妻ツル81）
三万円
丸岡　隈原キミ子（夫静66）
三万円
端山　杉木エミ（夫正義61）
五万円
西反土前田代カズエ（夫政徳68）
一万円
福山町　川原正司（母ハナ83）
十万円
田中城　国廣（妻秋70）
三万円
弥勒　池田文江（夫静夫78）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円
西ノ原　川田幸雄（千代子）
二万円
須崎　宮路シマ子（サダ）

▽十月二十日までのご寄付を掲載いたしました。